

子供用ワクチンに関する発表のまとめ

5歳から11歳の子供に対するワクチン接種が2022年17日から始まります。ファイザーの子供用1回分を2度受けますが、これは大人用よりも量も少なく薄いもので、少なくとも8週間の間隔をあけての接種となります。

けれども必要であれば最短で21日までは短縮可能です。（例：免疫抑制療法開始など）

このワクチン接種時にMMRなど他のワクチンを同時に複数接種しても構いません。

子供へのワクチン接種の利点

子供の症状は軽いことが多いですが、重症化したり入院する事も有ります。希には合併症を併発

しICUやHDUに入ったり長期間完治しないことも起こります。又、大人同様、感染した子供は他人を感染させます。5歳から11歳の子供にワクチンを接種する事で家族全員を守り、予測不可能な新型コロナウイルスからより弱い方達を救う事になります。

ファイザー社のワクチンの安全性

子供用のワクチンは対象年齢の子供達の臨床期間を経て、厳格な検査の過程を経て、このニュージーランドでも、又他の国々でも認められました。報告のあった副反応は軽いもので短時間で治り、他のワクチンによる症状と類似していました。あなたのお子さまがファイザーのワクチン、或いはその内容物に過度のアレルギー反応を起こしたのであれば、このワクチンは食物アレルギーを持つお子様にも安全です。

子供へのワクチン接種までに

準備

- リラックスできるように安心させましょう。若し不安がっていれば気をそらせるものを与えましょう。（例：ぬいぐるみや携帯電話など）
- 飲み物と食べ物を持参しましょう。
- 利き腕と逆の上腕部を出しやすい服装で行きましょう。
- 若しも1度目のワクチンで副反応が出たのであれば、予約をする前にかかりつけの医師又はヘルスライン（0800 28 29 26）に電話を掛けて相談しましょう。ワクチン接種時にも担当者にその事を伝えましょう。
- 付き添いの親ごさま、保護者、法的保護者の方がワクチン接種同意書にサインをしてください。

副反応

接種後1～2日で起こりうる副反応：

- 接種部の痛み・赤み・腫れ・腕の痛み
- 頭痛
- 熱（暑く感じる）
- 嫌悪感・むかつき・嘔吐・下痢
- 倦怠感・だるさ
- 身体全体の不快感や鈍痛（どこか健康ではない感覚）

しっかりと休ませ、水分をたくさん摂らせれば、上記の症状の緩和に役立ちます。

大変稀ですが、接種直後に起こりうるひどい副反応には次のようなものがあります。

- 呼吸困難
- 顔と喉の腫れ
- 心拍数の上昇
- 身体全身の発疹
- 眩暈（めまい）と脱力感

これらの症状が子供さんに認められればすぐさまそこにいる臨床担当者（クリニカル・スタッフ）に知らせるとともに111で救急車（アンビュランス）を呼ぶべきです。

心筋炎や心膜炎は5歳から11歳の子供を対象とした臨床検査では報告されていませんが、万が一、接種後数日から数週間後に以下の症状が認められれば速やかに医療機関に連絡すべきです。

- 胸部の不快感・重圧感・窮屈な感覚や痛み
- 呼吸困難
- 呼吸が速くなっている感覚・ドキドキする・心臓の高鳴り又は不規則な鼓動
- 気が遠くなる・フラフラする・めまい

ワクチン接種方法

予約なしでのウォークイン、或いは予約をする事も可能です。予約には [BookMyVaccine.nz](https://bookmyvaccine.nz) にてオンライン予約を行うか、コロナ専用ヘルスライン（COVID Vaccination Healthline 無料電話 0800 28 29 26 (8 a.m. ~ 8 p.m., 週末も含み毎日)に電話をしてください。通訳も可能です。

障害のある子供さん達へ

障害者チームが月曜から金曜の 8 a.m. ~ 8 p.m. 対応いたします。お子様の状態や必要とされること、又ワクチンについてのご質問にもお答えします。

電話番号：0800 28 29 26（内線2）

無料テキストメッセージ：8988

メール：accessiblecovidvaccinations@whakarongorau.nz

ブースターワクチンに関する発表のまとめ

4 か月前に 2 回目の接種を終えている 18 歳以上の方は、3 回目の接種（ブースター）を受けられます。2 回目を接種した後、SARS-CoV-2（新型コロナウイルス）に対する抗体が次第に減少してゆく為、免疫力を上げるためには 3 度目の接種が必要です。

感染に対する防御力を高め、重症化を防ぎます。以前は 2 回目の接種から 6 カ月後に受ける様にと推奨されていましたが、保健省は冬が到来する前に国民皆がブースターを受ける機会を持てるようにと、4 カ月後の接種を推奨しています。

オミクロン株に関しても、最近の研究によりブースターが重症化を防ぐ効果があるとわかりました。

心筋炎に関しては、イスラエルでは 280 万人に対して接種された 3 度目のブースター後、一人の症例が報告されています。

妊婦さんには妊娠月に関わらず、2 度目接種後 6 カ月経過してから
の接種が推奨されています。

年齢の高いグループは、先に受けて頂きます。理由はブースターは 2 回目摂取後 4 か月以上経過してから接種すべきですが、年齢が高いほど抗体の減少が早いからです。18 歳未満の若者は最初の 2 回の接種でしっかりとした抗体のレベルが獲得できるとともに、重症化率も低いです。この理由から、現時点では若年層へのブースターはまだ推奨されていません。